

痙攣重積型脳症の予後予測に有用な頭部 MRI 所見の探索

1. 研究の対象

2011 年 1 月から 2018 年 12 月の間に当院で痙攣重積型脳症と診断され治療を受けた方で、0 歳～10 歳の方

2. 研究目的・方法

痙攣重積型脳症は日本で最も多い小児の感染性脳症であり臨床的に重要な疾患です。急性期の頭部 MRI の拡散強調像で大脳に拡散低下を示す所見が特徴的とされています。しかし画像診断による痙攣重積型脳症の予後予測に関する報告はほとんどありません。

我々は痙攣重積型脳症患者の MRI 所見に着目し、MRI で認める病変の解剖学的部位が予後予測に有用な可能性があると考えました。本研究の目的は痙攣重積型脳症の予後予測に頭部 MRI 所見が有用か調べることです。

本研究は過去の病歴、採血データ、頭部 MRI データなどを解析する観察研究です。

研究期間：臨床研究倫理委員会承認後～西暦 2019 年 12 月 31 日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、採血データ、頭部 MRI 画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者 中央放射線部 部長 真鍋隆夫

地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221 (代表)